

青山学院初等部

【理事長】堀田 宣彌

【部長】中村 貞雄

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 TEL 03-3409-6897 <http://www.age.aoyama.ed.jp/>

【交通】JR山手線・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線「渋谷駅」、東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道駅」

「かけがえのないひとり」である子どもたちを 人と社会のためのサーバント・リーダーに

キリスト教信仰にもとづく教育を目指す

青山学院教育方針にもとづいて、神さまから与えられた賜物を活かし、感謝の心をもって祈り、神と人に仕える人間を育てることを理念としています。初等部の入学式では5つのおやくそく、「しんせつにします」「しょうじきにします」「れいぎたたくします」「よくかんがえてします」「じぶんのことはじぶんでします」を生活の中で活かせるようにしています。キリスト教精神をからだで享受してもらうため、毎朝の礼拝や宗教の授業のほか、宗教行事を大切にしています。

個を活かす教育と豊かな宿泊行事

「成長の記録」●通信簿の代わりに日常評価を大切に、PDCAサイクルの「成長の記録」を採用しています。児童・保護者・教員の三者面談をしながら個を大切に、個に合った指導をしています。

授業の充実●担任教員が担当する算数・国語・社会・生活の各教科では、児童の個性・適性に配慮し、学級を少人数のグループに分けた教育も行っています。理科・音楽・図工・体育・英語などの専門教科は、戦後間もない時期からその教科に卓越した専科教員が担当しています。特に英語は初等部から高等部まで、青山学院独自のカリキュラムに沿って「4-4-4制」英語一貫教育を実践しています。

体験学習●6年間で50泊以上の宿泊行事が設定されています。1年生の「なかよしキャンプ」はキリスト教オリエンテーションキャンプ、2年生の「農漁村の生活」は生活科のプログラム、3・4年生の「山の生活」は登山に親しむ生活キャンプ、5年生の「平戸 海の生活」は2kmの遠泳に挑戦、6年生の「洋上小学校」は小さな乗組員として航海体験、3～6年生の「雪の学校」は雪を素材とした学年縦割りの生活キャンプです。このような体験の中で感動を覚え、子ども達が大きく成長していきます。

食育●日々の食事を生活の中の教材としてとらえて、昼食時には「心のこもった、手作りの温かくおいしい食事」をいただいています。木曜ランチョンとよばれる学年毎に交替でいただく特別給食もあります。食育は、児童の生活力をつけることにつながります。

上級学校に進むには

一貫教育を原則とし、青山学院中等部へ推薦入学することができます。

「かけがえのないひとり」のために

初等部部长 中村 貞雄

青山学院初等部は、「神さまから与えられた賜物を活かす教育」を根底においています。人は生来、学ぶ主体として賜物を授かっています。それを大切に、子ども自身の内面に「感じ」「考え」「学習する」サイクルを生み出す力を育てることを実践してきました。これが「個を活かす教育」につながります。もちろん教育は学校だけのものではありません。初等部教育は、家庭との信頼関係と連携の中で「かけがえのないひとり」のために共に歩んでいます。



沿革

青山学院は、明治7年、ドーラ・E・スクーンメーカーらによって創立された女子小学校、同11年築地に設立された耕教学舎、同12年に横浜に開かれた美會神学校の3つの学校を源とする。その後、青山の地に移って、青山学院の基礎を築き、現在に至っている。

2017年度募集要項

募集人員：男子44人（予定）、女子44人（予定）

出願期間：10月1日～10月3日

（消印有効、郵送受付のみ）

出願手続き：所定の出願書類を一括し、入学検定料（郵便振替払込受付証明書）を同封の上、初等部事務室に郵送し、受験票の交付を受ける。○入学願書（1通）○調査書（1通）○健康調査票（1通）○家族写真（1枚）

入学検定料：30,000円

試験日：11月1日～11月5日（予定）

合格発表：11月9日（郵送発表）

【必要な費用（2016年度参考）】

入学金：300,000円

授業料：750,000円

施設設備費：250,000円

諸経費：16,000円

併設中学進学状況

◆青山学院中等部

※原則として推薦により進学可能

データパック

◆児童数768人／教員数40人

◆16年度応募者数：男子190人、女子198人

◆合格者数：88人

【併設校】

○青山学院幼稚園

○青山学院中等部

○青山学院高等部

○青山学院女子短期大学

○青山学院大学

○青山学院大学大学院